

名城大学 通信

9.16 (日)

名城大学Dayを開催いたします!

今年のテーマは、～ 教育ときずな ～
ご来学をお待ちしています。



2007年 / 8月号
NO.31
Meijo University

**全日本学生柔道優勝大会
女子3人制で3位入賞!!**



第4回

名城大学Day

～教育ときずな～

入場無料
事前申し込み不要

日時

9.16日 10:00～16:00
受付 9:30～15:00

[予備日は9月17日(祝) その場合、一部のイベントは中止になります]

場所

名城大学天白キャンパス

地下鉄塩釜口下車徒歩8分

※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

学生食堂
無料体験

5,000食限定

※品切れの際はご容赦ください。
※一部有料メニューもご用意しております。

買う・食す



特別企画

■ 金田一秀穂氏
特別講演会

「心地よい日本語」

※メイン会場(名城ホール)への入場は先着順となります。

■ 童話作家

鬼頭 隆氏(本学商学部卒)による

「おじんの童話朗読会

“桜の下で月の下で”



CONTENTS

1 名城大学Day告知

3 革新都市情報学部誕生

5 ゼミ・学生活動紹介

経済学部
社会フィールドワーク

7 輝く卒業生

白井淳夫さん

9 平成18年度就職状況報告

12 CAMPUS NEWS

春の叙勲褒章で
3名の受章!!

柔道部女子チームが
全国大会でみごと3位入賞

女子駅伝部から
3大会連続のユニバ出場
西川生夏さん

13 古いアルバムをめくれば

17 名城大学スポーツ・文化活動支援後援会だより

18 平成18年度事業報告(抜粋)

公開講座

- 不当表示規制の展開と消費生活【法学部】
- 公務員制度改革-近年の動向を追う-【法学部】
- 経営学部における教育支援と学生の絆【経営学部】
- 人間と環境の共生【経済学部】
- 音声のコンピュータ処理【理工学部】
- 外来種の駆除は日本の生態系を救うか?-ブルーギル・ブラックバスを例に-【理工学部】
- 人の健康と微生物【薬学部】
- いざ!という時に備えて「地震対策のススメ」【都市情報学部】
- 人間学から見た教育的絆【人間学部】
- 知っておきたいファイナンシャルプランニング【キャリアセンター】



知る・学ぶ

実験講座(定員限定) ※小学生は保護者同伴

- 植物の感染症を遺伝子診断する【農学部】(高校生~小学生向き)
- アメンボはなぜ浮く?-表面張力と界面活性剤の関係-【農学部】(高校生~小学生向き)
- 野生動物の生態調査法【農学部】(高校生~小学生向き)
- 身近な危険!酒、タバコ、薬物乱用【総合研究所】(大人~小学生向き)
- 総合数理実験・ゲーム:遊びから学ぶ理科・算数(数学)
「光で遊ぼう」【総合数理教育センター】(中学生~小学生向き)



知る・学ぶ

大学・附属高校のクラブ等紹介

大学クラブ紹介・実演

体育会演武会【居合道部、応援團リーダー部、テコンドー部、合気道部】

自作ゲームの展示・実演【情報技術研究会】 模型展示・実演【鉄道研究会】

作品展示、切り絵・貼り絵体験【造芸部】 漫才【落語研究会】

うちわづくりと遊び【児童文化研究会】 ミニコンサート【うたごえサークル「べんべん草」】

附属高校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)・クラブ等紹介・実演

SSH紹介【メカトロ部】

作って 体感!!光の不思議【自然科学部】

エコバッグを作ろう【総合学科コミュニケーション系列】

吹奏楽部演奏【吹奏楽部】

和太鼓演奏【国際クラス(特別講演会前のオープニングイベント)】

大学・附属高校合同企画

チアリーディング部合同演技、茶(華)道部合同茶会



見る・楽しむ

その他の主な催し・・・

知る・学ぶ

- 各学部/研究科紹介コーナー・進学相談コーナー
【各学部、研究科、入学センター】
- 留学生コーナー【国際交流センター】
「留学生による語学講座」「留学生による母国紹介」
「やってみよう!世界の遊び」
- 附属図書館開放

体験する・考える

- 初心者のためのパソコン教室【情報センター】
「パソコン操作の第一歩」
「世界に向かってホームページデビュー!」
「情報処理教室開放とパソコンQ&A」
- 起震車体験、AED救命講習会
- ノルディック・ウォーキングを始めよう

見る・楽しむ

- 「えいごdeビンゴ」【大学教育開発センター】
- 名古屋市交通局「お絵かきバス」(小学生以下対象)
- 卒業生作品展(校友会50周年イベント)
- 映画上映【情報センター】
「映画ドラえもん のび太の魔界大冒険」
「はだしのゲン」

買う・食す

- 校友会全国物産展、附属農場農産物即売会
- フリーマーケット
- 売店JB'sの営業
- 大学生協「スクエア」の営業

平成20年4月

革新

都市情報学部

誕生

まちづくりや企業経営の
分析力と計画力を学ぶ

2コース制の導入！
理系は「分析」、文系は「計画」のプロを目指します。

「サービス・サイエンス」をキーワードとした
都市情報学を実践します。

これまでの「都市情報学」は、官のサービスを
科学する「行政サービス・サイエンス」でした。
平成20年4月からは、官と民の様々なサービスを
扱う「サービス・サイエンス」へと革新します。

ますます広がるサービス分野で
活躍する人材を輩出します。

「サービス・サイエンス」って何？

サービスは政策や商品等の付加価値を高めるものとして欠かすことができません。このサービスを様々な視点から科学することによって新たな価値を創造するという新しい概念が欧米の大学を中心に広まりつつあります。

人は何をもとめているか・・・この疑問を出発点にサービスを科学（分析・計画）することこそ、本学部が目指す「サービス・サイエンス」です。



理系は「分析」、文系は「計画」のプロを目指す



新しい都市情報学部を広報するため、木下栄蔵学部長が3つの高校で講演しました。その模様を紹介します。

4月25日

名城大学
附属高等学校

5月14日

岐阜県立
加茂高等学校

5月29日

岐阜県立
可見高等学校



分りやすくするため、生徒達の身近なものを例（食べ物やスポーツ等）に挙げ、「Needs↓Plan↓Do↓See」の循環の中で、都市情報学部で学んだ学生が、将来どのようなフィールドで活躍できるのかを、4コマ漫画を使用するなどして説明しました。

今まで官のサービスに力点が置かれてきたが、民においても先進国の経済の7割がサービス業であることから考えると、「サービスを科学する」とは自然の流れで、これからも「文と理の総合力」を継承しつつ、「サービス・サイエンス」へと移行していくと話しました。

学校独自の「はつらつ講座」第1回目「コンピューターの発達が進み、形の無いサービスが重要になり、現在は物を売るのではなく、サービスを売る社会になつてきており、都市情報学部もそれに対応していきたい」と話しました。

ゼミ・学生活動
紹介



確か、この辺りに船着場の名残があったような？

「大阪と言えば『道頓堀』」、
しかし、「名古屋と言えば『堀川』」とは言いません。
同じように都市の中を流れる運河なのに、
それはなぜでしょうか？

経済学部

社会

フィールドワーク



今回はゼミ(研究室)の紹介ではあ
りませんが、現地調査の授業です。

経済学部「社会フィールドワーク」

の授業は、学内で準備をした上で時々
現地へ出かけて行き、学生達がそれ
ぞれグループを組み、与えられた課
題の内容で調査をします。

今年度は3コースあり、その内の
1つが「堀川クルーズを軸にした名
古屋の観光活性化プロジェクト」です。
これまでに堀川クルーズ運行企業の
社長にお話を聞いたり、実際に体験
乗船したりして、課題や今後の方向
性を検討してきました。今回は5月
10日に続いて、6月21日の1、2限を
使って、堀川周辺を調査しました。



昔は、お城からの交通手段として
繁栄した堀川。しかし、今は周辺に
面影は残るものの、とても賑わいが
あふれているとは言いがたいものがあ
ります。それを、どのようにして活
性化させるか、どこをどのようにし
たら経済効果を産み出すのか？また、



クイズを作って観光客に考えてもらい、堀川や名古屋のことをよく知ってもらいたいということで、そのクイズと解説作りのための調査です。

場所は、「宮の渡し（最寄りには内田橋）」から「名古屋城（朝日橋）」までの間を6つの班で分担しました。

3班は毛利さん（3年）をリーダーとする、1、2、3年生6人のグループです。

井内先生から、「昔はここまで瀬戸電が来ていたんだよ。瀬戸の陶磁器を運んできて、ここから船で運んでいたのだよ」と聞き、今は雲景橋小公園となっているその跡地を歩きました。

「クイズの題材にするようなものがなかなかないですよ」と、毛利さんは愚痴をこぼしながら、それでも古い神社（浅間神社）や説明書きにシャッターを切っていました。



4班は河本さん（3年）がリーダーで、あとは1年生ばかりの6人のグループです。

新洲崎橋から北へ上ってきたという4班、橋の下にも題材があるのか、近くの駐車場まで降り、橋の下から写真を撮ったり、向かいの橋から撮ったりするなど工夫をしていました。



これは使えるかも？



この辺が古い建物が続く街並みだけど、ここからは川が見えないね。

ジャズバー”SHIRAI HOUSE”を
 開店して20年、根強いファンに支えられた
 白井淳夫さん（昭和42年商学部卒）、益々輝きます。



「今回、リーダーとして初めてのCDも発売しますよ」

「大学1、2年時は駒方寮に入っていたこともあり、真面目に大学へ通いましたが、音楽学部を卒業したようなものです」と白井さんは笑います。

20周年記念日の10月28日(日)には、メインゲストに北村英治さんを迎え、毎年開催する「ほろ酔いライブ」の記念版とも言うべきコンサートを、駅前AOSSAホールで開催します。

「シライハウスの」おやちと慕われる白井淳夫さん、福井新聞創刊100周年の年（1999年）には、演奏活動によるジャズ文化の啓蒙が認められ、福井新聞文化賞“も受賞しました。

—音楽との出会いはいつ頃ですか？

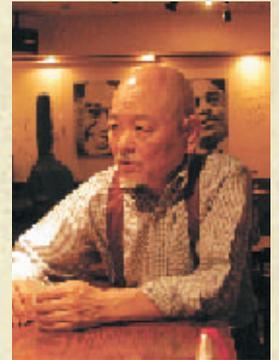
中学、高校とブラスバンド部



後列左が白井さん
 駒方寮時代（寮祭・昭和39年6月）

に入っていました。大学時代は軽音楽部に所属し、最初は小編成のバンドしかなかったのですが、3年生の時に数年前から途絶えていたビッグバンドを再び立ち上げました。

ジャズとの出会いは、グリーンミラー物語を観たのが決定的ですが、駒方寮に入っていた時、オーディオを持っている寮生がおりジャズを聞かせてもらったのがきっかけです。



卒業後はどうされたのですか？

名古屋でプロとして活動しましたが、日本を代表するビッグ・バンド「宮間利之とニュー・ハード」のオーディションに合格、上京しました。ジャズ・コンサートやレコーディングの他、テレビ番組等での演奏活動をしました。

福井に帰郷して、サラリーマンとして再出発とは、どうしてですか？

なかなかジャズだけでは食べていけないのです。妻も福井の出身で、楽器を捨てるつもりで繊維関係の会社に入りました。それでも知人の紹介で演奏活動は続けていました。4年半のサラリーマン生活を辞め、最初は店長としてバーに勤めました。1年後自分で開店し、やっと長年の夢であった、生活

と演奏活動を両立させることができました。今の店は5年前に移転しました。

今までで一番印象に残っている事は？

いろいろとありますが、1974年にアメリカ西海岸のモンタレー・ジャズフェスティバルに出演した事と、1978年に国際親善大使として南米4カ国を演奏訪問した時ですね。ボリビアという国は、海拔4000メートルくらいのところであり、2人が高山病にかかりました。起き上がれず大変なのです。普通なら一息で4小節くらい吹けるサクソフォンところが、半分しか吹けない。そして音が



こもつてきこえるのです。ところが、現地の人々が吹くと普通なのです。だいたいラパスという都市はすり鉢状になっており、金持ちや大使館は空気の濃い一番低い場所であり、一般の人(インディオ等)は高い所に家を造るのです。

もう一つ、学生時代に広島でコンサートを開いたことです。当時はすごいことでした。天草の先輩のホテルで夏の間中演奏したことも思い出です。

壁にジャズマン達の写真が飾られ、空いたところには演奏者たちのサイン。カウンターの中には、20周年を記念したTシャツを着たスタッフの「ひとみちゃん」と「ひさちゃん」、料理を作るママ。毎週水曜日はおやち、羽田さん(ギター)、藤井さん(ベース)の3人によるライブを聞くことができます。

グラスを傾けながら生演奏を聞く・・・久しぶりに素敵な雰囲気の中で時間が流れていきました。



ジャズバー SHIRAI HOUSE

〒910-8012

福井市順化2丁目20-14 ワコーKプラザB1

TEL 0776-26-1128

http://www.shiraihouse.pro.nu



平成18年度 就職状況報告



平成18年度の就職環境は、昨年引続き順調な景気回復傾向を受けて、企業の採用意欲が急速に高まりました。これには、企業業績の回復とともに、少子化の進展や団塊の世代の大量定年退職(所謂「2007年問題」)などの要因があげられます。

また、リクルートワークス研究所の調査によると、19年3月卒業の大卒求人倍率は1.89倍(昨年1.60倍)、大卒・院卒の求人総数は82.5万人(昨年69.8万人)と、バブル期並みの高水準となりました。

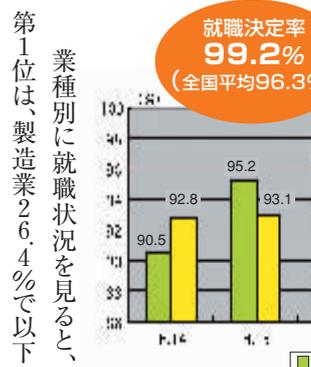
こうした流れの中で特に東海地方では、産業の中核をなす自動車産業を中心とした業績好調な製造業が牽引役となり、近年にない強気な採用計画を立てる企業が続出しました。

しかし、その一方で採用にあたっては各社とも「人は欲しいが、優秀な人材しか採用しない」というここ数年来続いている厳選採用の方針は依然として変わっておりません。基準に見合わない人材を無理に採用することはせず、本当に必要な人材に出会う

た場合のみ採用するという「量より質」重視の姿勢が強く感じられます。企業は必要とする人物像を明確に設定し、それに見合った人材だけを厳選採用するということが新卒採用の基本方針として、定着しています。

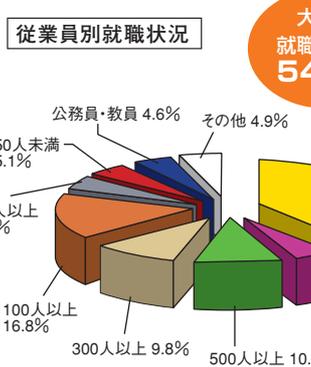
業種別に求人状況を見ると、サービス業32.8%、製造業29.1%、卸売業21.3%、建設業9.2%、金融業2.9%、その他となっており、幅広い業種から求人がありました。

特に、目立つのは、製造業で一般機械・自動車関連の輸送用機械

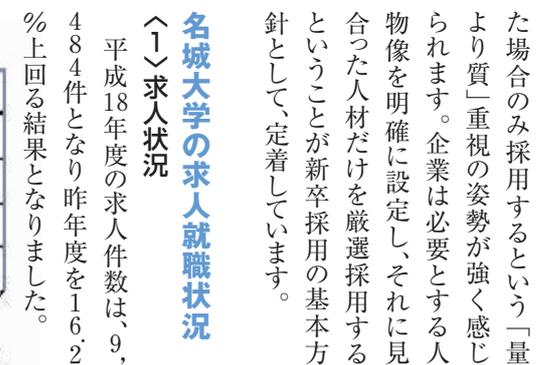


〈2〉就職状況

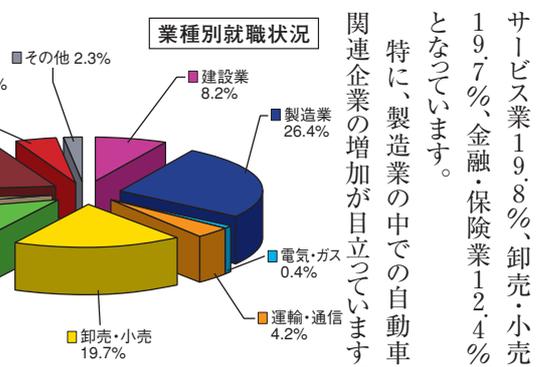
厚生労働省と文部科学省の調査によれば、平成19年3月卒業の大学生の全国平均就職決定率は96.3%と発表されています。本学の就職決定率は、その平均値を2.9ポイント上回り99.2%でした。



また、規模別に見ると従業員500人以上の大企業へ54.3%の学生が就職しており、過半数の学生が大企業へ就職を決めたこととなります。



器具と情報処理産業の増加でした。



サービス業19.8%、卸売・小売19.7%、金融・保険業12.4%となっています。

特に、製造業の中での自動車関連企業の増加が目立っています。

〈3〉平成18年度 主な就職先

法学部	アイシン・エイ・ダブリュ(株)
	アイシン精機(株)
	(株)愛知銀行
	イオン(株)
	イビデン(株)
	(株)大垣共立銀行
	近畿日本ツーリスト(株)
	(株)十六銀行
	住友生命保険相互会社
	住友林業(株)
経営学部	積水化学工業(株)
	積水ハウス(株)
	(株)損害保険ジャパン
	(株)中京銀行
	東海ゴム工業(株)
	(株)豊田自動織機
	(株)名古屋銀行
	日本興亜損害保険(株)
	日本生命保険相互会社
	万有製薬(株)
経済学部	(株)百五銀行
	フタバ産業(株)
	(株)マキタ
	三井住友海上きらめき生命保険(株)
	(株)三井住友銀行
	(株)三菱東京UFJ銀行
	明治安田生命保険相互会社
	(株)森精機製作所
	ヤマザキマザック(株)
	ユニー(株)
経済学部	(株)愛知銀行
	オーエスジー(株)
	(株)大塚商会
	カルピス(株)
	(株)河合楽器製作所
	(株)十六銀行
	神鋼電機(株)
	(株)新生銀行
	(株)損害保険ジャパン
	第一生命保険相互会社
経済学部	(株)第三銀行
	大同メタル工業(株)
	CKD(株)
	(株)中京銀行
	中部電力(株)
	東海染工(株)
	東海旅客鉄道(株)
	東京海上日動火災保険(株)
	日本生命保険相互会社
	日本通運(株)
経済学部	野村證券(株)
	(株)百五銀行
	(株)マキタ
	(株)三重銀行
	三井住友海上火災保険(株)
	(株)三菱東京UFJ銀行
	明治安田生命保険相互会社
	名鉄観光サービス(株)
	ユニー(株)
	(株)リソな銀行
経済学部	アイシン精機(株)
	(株)愛知銀行
	(株)伊藤園
	オーエスジー(株)
	(株)大垣共立銀行
	オカモト(株)
	(株)オンワード樺山
	興和(株)
	コカ・コーラ センtral ジャパン(株)
	積水ハウス(株)
大同特殊鋼(株)	
大豊工業(株)	
中央発條(株)	
中部電力(株)	
東海旅客鉄道(株)	

経済学部	凸版印刷(株)
	トヨタ自動車(株)
	(株)名古屋銀行
	名古屋鉄道(株)
	ニチコン(株)
	日本生命保険相互会社
	(株)日本旅行
	野村證券(株)
	フタバ産業(株)
	豊和工業(株)
理工学部	三菱化学(株)
	(株)三菱東京UFJ銀行
	名鉄観光サービス(株)
	ユニー(株)
	(株)リクルート
	アイシン・エイ・ダブリュ(株)
	アイシン精機(株)
	愛知機械工業(株)
	アスモ(株)
	(株)INAX
理工学部	イビデン(株)
	オークマ(株)
	(株)大林組
	オムロン(株)
	鹿島建設(株)
	関東自動車工業(株)
	キャノン(株)
	(株)神戸製鋼所
	三洋電機(株)
	CKD(株)
理工学部	(株)ジェイテクト
	清水建設(株)
	新日本製鐵(株)
	スズキ(株)
	住友電装(株)
	積水ハウス(株)
	大成建設(株)
	太平洋工業(株)
	大和ハウス工業(株)
	中央発條(株)
理工学部	中部電力(株)
	東海ゴム工業(株)
	(株)東海理化電機製作所
	東海旅客鉄道(株)
	(株)東芝
	(株)トーエネック
	豊田合成(株)
	トヨタ自動車(株)
	トヨタ車体(株)
	トヨタテクニカルディベロップメント(株)
理工学部	豊田鉄工(株)
	トヨタ紡織(株)
	西日本電信電話(株)
	西日本旅客鉄道(株)
	日本車輛製造(株)
	日本電気(株)
	日本電産(株)
	日本電話施設(株)
	(株)ノリタケカンパニーリミテド
	浜松ホトニクス(株)
理工学部	東日本旅客鉄道(株)
	(株)日立情報システムズ
	富士機械製造(株)
	富士重工業(株)
	フタバ産業(株)
	ブラザー工業(株)
	豊和工業(株)
	本田技研工業(株)
	(株)マキタ
	三井ホーム(株)
三菱重工業(株)	
理工学部	(株)森精機製作所
	矢作建設工業(株)
	ヤマザキマザック(株)
	リンナイ(株)

都市情報学部	アイシンエンジニアリング(株)
	愛知トヨタ自動車(株)
	(株)岐阜銀行
	(株)サークルKサンクス
	(株)CSI
	(株)シーテック
	(株)JBISホールディングス
	ジャパンシステム(株)
	(株)十六銀行
	(株)銭高組
都市情報学部	総合警備保障(株)
	ソニーリージョナルセールス(株)
	ソフトバンク(株)
	第一生命保険相互会社
	大和証券(株)
	(株)中電シーティーアイ
	東新住建(株)
	トーテックアメニティ(株)
	トランス・コスモス(株)
	名古屋鉄道(株)
都市情報学部	日本電話施設(株)
	(株)日立システムバリュー
	日立電子サービス(株)
	(株)三菱東京UFJ銀行
	(株)森精機製作所
	ヤマトシステム開発(株)
	(株)有線ブロードネットワークス
	(株)ユーフィット
	ユニー(株)
	(株)菱友システムズ
農学部	アイシン化工(株)
	愛知県経済農業協同組合連合会
	あいち知多農業協同組合
	イオン(株)
	伊藤ハム(株)
	カゴメ(株)
	カネハツ食品(株)
	キッセイ薬品工業(株)
	協和発酵工業(株)
	興和(株)
佐藤食品工業(株)	
農学部	(株)三和化学研究所
	敷島製パン(株)
	(株)ジャパンビバレッジ
	(株)十六銀行
	(株)スズケン
	太陽化学(株)
	田辺製薬(株)
	中北薬品(株)
	(株)名古屋銀行
	日東エフシー(株)
農学部	日本ケミファ(株)
	(株)浜乙女
	フジパングループ本社(株)
	マルサンアイ(株)
	(株)三菱東京UFJ銀行
	明治製菓(株)
	持田製薬(株)
	山崎製パン(株)
	和光純薬工業(株)
	愛知医科大学附属病院
薬学部	愛知県赤十字血液センター
	味の素(株)
	アステラス製薬(株)
	アストラゼネカ(株)
	医療法人社団主体会
	医療法人大雄会
	医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
	エーザイ(株)
	大垣市民病院
	協和発酵工業(株)
公立陶生病院組合陶生病院	
薬学部	(株)ジップ・ホールディングス
	社会保険中京病院
	社団法人岐阜病院

薬学部	(株)スギ薬局
	(株)スギヤマ薬品
	(株)スズケン
	武田薬品工業(株)
	田辺製薬(株)
	土岐市立総合病院
	特定医療法人明陽会
	豊川市民病院
	豊橋市民病院
	名古屋掖済会病院
人間学部	名古屋大学医学部附属病院
	日本調剤(株)
	半田市立半田病院
	藤田保健衛生大学病院
	明治製菓(株)
	アスモ(株)
	イオン(株)
	イオンクレジットサービス(株)
	エス・バイ・エル(株)
	(株)大垣共立銀行
人間学部	(株)大塚家具
	(株)紀文フードケミファ
	(株)十六銀行
	スターキャット・ケーブルネットワーク(株)
	積水ハウス(株)
	ソフトバンク(株)
	(株)第三銀行
	瀧名名古屋(株)
	タキヒヨー(株)
	(株)中日新聞社
東京海上日動火災保険(株)	
人間学部	東濃信用金庫
	(株)豊通シスコム
	豊橋信用金庫
	日本メナード化粧品(株)
	野村證券(株)
	ピープルスタッフ(株)
	碧海信用金庫
	(株)ベストブライダル
	三井住友海上火災保険(株)
	(株)三井住友銀行
三井生命保険相互会社	
(株)三菱東京UFJ銀行	
ユニー(株)	
リンナイ(株)	

名城大学の就職支援体制

本学では、内定を勝ち取るまでに4年間にわたって「貫いた相談ができる体制をとっています。



インターネットの普及により、情報が氾濫し学生たちは、何が有用な情報が判断することが難しい状況にあり、マンツーマンによる個別指導体制はますます重要なものとなっています。

名城大学就職支援の特徴

最大の特徴は「個別指導担当制」による進路支援です。これは4年間同じ担当者が学生の状況

に即した支援を終始「貫継続して行うものです。担当者は、学生とのマンツーマンの面談を通じて、その適性や能力を考慮しつつキャリアデザインの実現に向けて、親身な指導を行っています。

まず1・2年次では、個別指導のほか、「講演会」「グループ面談」「自己分析テスト」などによって、学生が自発的に自分の進路を考える機会を与え、自己実現をサポートしています。また、低学年の学生がボランティアで就職イベントを手伝う「就職サポーター」制度を創設し、意識の高揚に役立っています。



3年次からは更に実戦的な就職指導が始まります。より緊密



化した個別指導を中心に「就職ガイダンス」「模擬面接」「学内企業セミナー」など多彩な行事が開催されます。特に、「学内企業セミナー」は約550社が参加する東海地区最大規模のもので、就職支援の大きな柱となっています。学内企業セミナーへの参加が内定に結びつくケースもあり、学生参加も延べ1万名を超えています。

以上のように本学では、個別指導を主軸として各種行事を含め多彩な学生支援プログラムを実施し、就職活動のさらなる充実に向け努力を続けています。



CAMPUS NEWS

春の叙勲・褒章で3名の受章!!

平成19年度春の叙勲・褒章が4月29日に発令され、本学関係者3名が受章しました。

《瑞宝中綬章》
杉原 久義 名城大学名誉教授
(元薬学部長・元教授)

《瑞宝重光章》(受章者の内文部科学省関係 13名)

兼松 顯 前学長(九州大学名誉教授、元九州大学薬学部長)
飛田 武幸 元理工学部長・元数学科教授(名古屋大学名誉教授)

皇居内で勲章伝達式 左:飛田武幸元理工学部長 右から2人目:兼松顯前学長



柔道部女子チームが全国大会でみごと3位入賞!

6月23日・24日に日本武道館(東京)で開催された全日本学生柔道優勝大会で、3年ぶり6度目の3位に

(結果・東京大学戦2×0、群馬大学戦2×0、福岡工業大学戦3×0で勝ち、準決勝で旭川大学に0×1で惜敗)

今年の全日本学生大会の皮切りである本大会、反省を日々の生活と練習

男子は健闘するも1回戦(対東洋大学)にて敗退。

に生かすと同時に、部員一人ひとりが高いモチベーションを持ち続け、今後の体重別選手権大会および体重別団体優勝大会に臨むことを誓っていました。



女子駅伝部から3大会連続のユニバ出場!!

日本学生陸上競技対校選手権大会が6月8日〜10日まで、東京国立競技場で開催されました。本大会は、第24回ユニバーシアード競技大会日本代表最終選考会も兼ねており、本学から出場した女子駅伝部の西川生夏選手(法学部2年)が、初日の10000mで第2位に入賞し、8月にタイ(バンコク市)で開催されるユニバーシアード競技大会の日本代表に選出されました。

本学からのユニバーシアード日本代表は3大会連続の選出となり、過去2大会では、本学の選手がいずれも金メダルを獲得しており、西川さんの活躍が大いに期待されます。

なお、大会結果及び代表選手の詳細については、日本学生陸上競技連合のホームページを



ご覧下さい。
<http://www.jiau.jp/>

古いアルバムをめくれば

【第1回】

天白1号館



1号館と仮本部棟、車庫

本部棟裏にも空地があり、休憩時間になると、職員がキャッチボールをしたり、読書をする姿が見られたものです。

今回から新シリーズとして、「古いアルバムをめくれば」と題して古い写真を紹介します。

卒業生の皆様の思い出に繋がる写真があるかもしれません。

また、これは年が違うのではないかなど指摘をいただければありがたいです。写真は残っているものの、それが何かわからないとか、何時の年代かわからないものも多いのです。

意外に81年の歴史を辿る写真が残っていません。

もし皆様の中で名城大学の歴史に繋がる「古い写真」等がありましたらお借りできないでしょうか？

学寮の生活や、キャンパスで友人と写した写真でもありがたいです。

撮られた年代を明記していただき、総合政策部の広報まで送っていただきますようお願いいたします。

(郵送料は申し訳ありませんが立て替えていただき、お返しする時に切手を同封いたします。)(薄謝進呈)

第1回は天白1号館を取り上げました。



1号館右側屋上に「名城大学」看板

1号館は国道153号線から一番遠いところにありました。正面に看板を作っても見えなかったのでしょうか。建設時にはここにありました。



池の周りで集う学生達



1号館西側から

いつ頃からか、この手前の空き地には八事霊園のお墓が一杯です。



仮本部棟
向かって右が事務局本部、左は教務部と学生部でした。



グリーンパークに集まる学生達

グリーンパークもこの頃は何も無く広がったんですね。



天白1号館のデザイン写真 (S.40.7)



工事中、完成間近

古いアルバムをめくれば

【第1回】 天白1号館



1号館跡地の現在 (共通講義棟北)



完成した池



1号館中
両方に階段があります。結構広い階段でした。

完成後
(S.41.1.10取得)



1号館前へ行く通路の真中に作られた池
この頃は学生服姿が多かったのですね。



授業風景



授業風景



全国大学紹介受付



法商学部事務室



矢野勝久元学長の大学院講義(S.43年頃)

名城大学スポーツ・文化活動支援後援会だより

ご支援ご協力有難うございます。
支援後援会の活動報告、及び平成19年度活動計画は、同封の「後援会だより」をご覧ください。

在學生(学部3年次生・大学院生)の就職活動を応援します。

- 11月に賛助企業紹介誌を配布し企業内容、求人条件を理解してもらい最適な企業選びに役立ててもらいます。
- 賛助企業対象に学内企業セミナー(企業担当者面談)を2月に開催します。地元優良企業が参加しますので、自宅から通える企業、実力を発揮できる企業を発見するチャンスです。

卒業生の転職・再就職をサポートします。

賛助企業就職ナビを9月に立上げるため準備を進めています。転職や、再就職を希望される方はご利用ください。
詳しくは、次号の名城大学通信でご紹介します。

在學生保護者(C会員)の皆様へ

一度、入会頂くと在学期間中は会員です。従って、会費を既に納付されている場合は、振込の必要はありません。
まだ、ご入会されていない場合は、是非、ご入会をお願いいたします。

会費振込先(郵便振込み)

口座番号 00830-7-8489
加入者名 名城大学スポーツ・文化活動支援後援会
会員名 C会員(在學生保護者)
会費 5,000円(在学期間中)

お問い合わせ

名城大学スポーツ・文化活動支援後援会事務局
〒468-8502
名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学学務センター内
TEL (052) 832-1151(代) 内線2624 FAX (052) 833-5240

高校生

DIGITAL PHOTO & ESSAY デジタルフォト&エッセイコンクール

- テーマ 美しいまちとひとの暮らし
- 応募資格 高校生
- 応募規定
 - ・デジタルカメラ(携帯電話付属のもの含む)で撮影した写真を1枚か2枚と、その写真に込められたあなたの思いを50字程度(最大400字)で書いてください。
 - ・写真はファインモードや高解像度で写してください。
- 応募方法
 - ・メールで下記のアドレスに、送ってください。
con@urban.meijo-u.ac.jp
 - ・メールには、応募者の氏名(フリガナ)、住所、高校名、学年、住所、電話番号と応募作品のタイトルを明記して、**題名を「コンクール応募」として**ください。
- 募集期間 2007年7月20日～2007年9月9日

お問い合わせ先 名城大学都市情報学部

〒509-0261 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3 TEL: 0574-69-0100
FAX: 0574-69-0155 メール: toshi-office@urban.meijo-u.ac.jp

平成18年度 事業報告 (抜粋)

I 全般

(1) 「MS-15 (Meijo Strategy-2015)」に基づく ビジョン・戦略実現に向けた施策の遂行

- ① 全学で重点的に取り組むべき事項 (イニシアティブ項目) を明確化
- ② MS-15の概要についての学内外への公開
- ③ 院高度化費の充実施策配分による大学院教育プロジェクトの推進
- ④ 大学院FD体制の確立を目指した学生アンケートの実施と公表
- ⑤ 学長補佐制度の検討に伴う副学長複数制の導入
- ⑥ 学校教育法改正に伴う教員組織の改編
- ⑦ 「中高一貫教育構想検討分科会」の設置
- ⑧ 附属高等学校内の生徒、保護者、教員に対するアンケート、
主要な塾に対するヒアリングを実施 (平成18年9月)

(2) 認証評価対応を視野に入れた評価体制の確立

- ① 教育研究活動及び学校法人の組織運営等の試行評価の実施
- ② 附属高等学校評議員会の開催 (2回)

(3) 学生支援の積極的展開

- ① 平成18年度の就職決定率99.2%
- ② 「平成18年度 学長表彰、学長顕彰、名城大学スポーツ・
文化支援後援会会長表彰」として個人76名、団体27団体を表彰
- ③ 「ボランティア協議会」
「防犯ボランティアの特色ある安全なまちづくり活動」優秀賞を受賞

(4) 教育・研究環境整備の継続的推進 再開発計画

- ① 研究実験棟 I の建設に着工
(平成18年4月/第一期第二次計画として)
- ② 八事キャンパス新1号館が竣工
(平成18年11月/第二期第一次計画として)

(5) ISO14001に基づく取り組みの推進

- ① 「平成18年度マネジメント・レビュー」のまとめ
- ② 「第5回ISO14001フォーラム」を開催し、約1,000名が参加

(6) 父母・卒業生との連携強化

- ① 大学通信 (大学機関紙) やホームページによる情報開示
- ② 「名城大学Day」の開催
(平成18年9月17日/テーマ「教育と地域共生」)
- ③ 「名城大学関西シンポジウム」の開催
(平成18年11月18日/テーマ「プロフェッショナルの養成」)

II 教育・研究の充実

(1) 全学共通教育の導入

(平成17年度～平成20年度までの段階的導入実施)

- ① 新たに薬学部薬学科 (6年制) を設置し、従前の一般教育科目に
あたる総合基礎部門を共通化

(2) 高大一貫・連携教育の推進

- ① 附属高校と大学がともに連携して入学生に対して継続的に
7年間一貫教育を実施
- ② 附属高校普通科国際クラス第1期生が人間学部に入學
(高大一貫教育)
- ③ 都市情報学部と愛知県犬山高等学校との教育交流事業の展開
- ④ 都市情報学部と岐阜県可児高等学校及び東濃実業高等学校と
連携事業に係る協定書を締結

(3) 専門職人材育成の大学院の充実と情報発信の展開

- ① 法務研究科から、5名の修了生 (既修者) を輩出 (平成18年度の
新司法試験での実績は、短答式合格者5名 (100%) 最終合格者2名)
- ② 法科大学院教育シンポジウムの開催 (2回)
- ③ 大学・学校づくり研究科で、新しい企画・開発・評価への挑戦や
参画ができる教育経営職人材を育成するため教育活動を展開

(4) 薬学部6年制移行への対応及び大学間連携の推進

- ① 薬学部医療薬学科、薬学科 (4年制) の学生募集を停止し、
新たに薬学部薬学科 (6年制) を設置
- ② 臨床に係る実践的な能力を培う必要があることから、
藤田保健衛生大学病院に加え、名古屋大学医学部附属病院、
安城更生病院、愛知医科大学病院との連携体制を整備

(5) JABEE (日本技術者教育認定機構) の継続審査

- ① 理工学部建設システム工学科は平成17年度に審査、平成18年度に認定
- ② 建築学科は平成18年度に審査

(6) FD (Faculty Development) の一層の充実と SD (Staff Development) への展開

- ① 「平成18年度教員アンケート」の試行実施
- ② 第8回FD講演会の開催 (平成18年11月6日)

(7) 学習支援の充実に向けた施策の実践

- ① 導入教育の一環とする本学の学習支援 (MEC) プログラムの推進
- ② 人間学部における運用を踏まえたGPA (Grade Point Average)
の導入・推進

(8) 産官学共同研究の推進

- ① 「アジア研究所」・「ジェンダー研究所」を設置 (平成18年4月)
- ② 本学のMeidaS (研究者データベース) への学外アクセス件数の
増加 (H17年: 5,424件/平成18年: 16,724件)

(9) 研究成果等の積極的な情報発信

- ① 「総研ニュース」、「総合研究所 総合学術研究論文集」、
「総合研究所 紀要」、「アジア研究所 ニュースレター (創刊号)」
を発行し、全国の大学・研究所等に送付
- ② 経済産業省中部経済産業局が作成する「中部の技術シーズ」への
情報提供等をはじめ、行政との連携による情報発信

(10) 外部資金の獲得に向けた取り組み

- ① 医療人GP採択 (テーマ: 地域医療等社会的ニーズに対応した
質の高い医療人養成推進プログラム)
- ② 科学研究費補助金の申請・採択金額の増加
(H17: 117,600千円/H18: 203,000千円)
- ③ 学術研究高度化推進事業 (6課題176百万円)

(11) 学内における学術研究の活性化を図る取り組み

- ① 7つの助成事業を対象に公募を実施し、選定した結果、
52課題で総額57,000千円を助成

(12) 特許出願の推進

- ① 平成18年度特許出願 (国内出願21件、外国出願6件)

(12) SSH (スーパー・サイエンス・ハイスクール) 事業への取り組み

- ① 文部科学省から附属高等学校がSSHに指定され、高大連携講座の開催
- ② SSHに指定された愛知・岐阜・三重・静岡の高校が本学
天白キャンパスに一堂に会して「第1回スーパーサイエンスハイスクール
東海地区フェスタ2006」を開催 (平成18年8月2日)
- ③ SSH生徒による研究発表会を開催 (平成19年3月6日)

は、平成18年度事業計画に基づく取り組み項目。

資金収支計算書

収入の部

科 目	平成18年度	平成17年度	前年度比
学生生徒等納付金収入	18,313	18,528	△ 215
手数料収入	995	898	97
寄附金収入	212	143	69
補助金収入	2,407	2,120	287
資産運用収入	346	317	29
資産売却収入	1	300	△ 299
事業収入	367	394	△ 27
雑収入	937	988	△ 51
借入金等収入	181	218	△ 37
前受金収入	4,197	3,818	379
その他の収入	3,181	6,366	△ 3,185
資金収入調整勘定	△ 4,922	△ 5,211	289
当年度資金収入計	26,215	28,879	△ 2,664
前年度繰越支払資金	8,849	6,823	2,026
収入の部合計	35,064	35,702	△ 638

支出の部

(単位：百万円)

科 目	平成18年度	平成17年度	前年度比
人件費支出	12,704	12,883	△ 179
教育研究経費支出	5,290	5,381	△ 91
管理経費支出	1,029	985	44
借入金等利息支出	29	37	△ 8
借入金等返済支出	554	599	△ 45
施設関係支出	1,621	3,062	△ 1,441
設備関係支出	916	1,462	△ 546
資産運用支出	2,734	2,322	412
その他の支出	382	439	△ 57
資金支出調整勘定	△ 1,617	△ 318	△ 1,299
当年度資金支出計	23,642	26,852	△ 3,210
次年度繰越支払資金	11,422	8,850	2,572
支出の部合計	35,064	35,702	△ 638

★資金収支計算書ポイント

前年度繰越支払資金と次年度繰越支払資金の差額が1年間の資金の増減になりますが、平成18年度は2,572百万円増加しました。

主な要因は、施設・設備関係支出が減少したことによります。

当年度資金収入は、補助金の増加がありましたが、前述の要因による特定資産取崩（その他の収入）が減少し、前年度比で2,664百万円減少しました。

当年度資金支出は、再開発事業の減少などにより前年度比で3,210百万円減少しました。

〔納付金収入〕	学生数の減少により前年度比215百万円減少しました。
〔手数料収入〕	大学・高校の入学試験出願者数の増加により、入学検定料収入が増加しました。
〔補助金収入〕	経常費補助金は前年度比大幅に改善しましたが、特色ある教育・研究に対する補助金は微増に留まりました。 附属高等学校は生徒数の減少により減少しました。
〔資産売却収入〕	有価証券の期中における購入・売却が均衡しました。
〔雑収入〕	退職者数の減少により、退職金財団交付金が減少しました。
〔その他の収入〕	再開発事業費の減少により、特定資産の取崩が大きく減少しました。
〔人件費支出〕	退職者数の減少により人件費が179百万円減少しました。
〔教育研究経費支出〕	八事新1号館稼動に伴う消耗備品等の経費の増加はあったものの、前年度にあった太白5・9号館の部分解体等が終了したことにより減少しました。
〔管理経費支出〕	八事新1号館稼動に伴う消耗備品や法人広報の充実などにより増加しました。
〔施設関係支出〕	太白・八事キャンパス再開発事業計画に基づく支払額が減少しました。
〔設備関係支出〕	教育研究用機器備品の取得が減少しました。
〔資産運用支出〕	資金収支の改善により、特定資産への積立てが増加しました。

消費収支計算書

消費収入の部

科 目	平成18年度	平成17年度	前年度比
学生生徒等納付金	18,313	18,528	△ 215
手数料	995	898	97
寄附金	338	229	109
補助金	2,407	2,120	287
資産運用収入	346	317	29
資産売却差額	1	0	1
事業収入	367	394	△ 27
雑収入	952	1,004	△ 52
帰属収入合計	23,719	23,490	229
基本金組入額合計	△ 2,571	△ 3,433	862
消費収入の部合計	21,148	20,057	1,091

収支係数(%)	9.9	7.9	2.0
---------	-----	-----	-----

※収支係数=帰属収支差額÷帰属収入・・・高い値がよい

消費支出の部

(単位：百万円)

科 目	平成18年度	平成17年度	前年度比
人件費	12,612	12,904	△ 292
(うち退職給与引当金繰入額)	(1,126)	(1,339)	(△213)
教育研究経費	7,523	7,332	191
(うち減価償却額)	(2,218)	(1,946)	(272)
管理経費	1,179	1,113	66
(うち減価償却額)	(148)	(129)	(19)
借入金等利息	29	37	△ 8
資産処分差額	24	254	△ 230
消費支出の部合計	21,367	21,640	△ 273
当年度消費支出超過額	219	1,583	△ 1,364
前年度繰越消費支出超過額	12,383	10,800	1,583
翌年度繰越消費支出超過額	12,602	12,383	219

帰属収支差額	2,352	1,850	502
--------	-------	-------	-----

※帰属収支差額=帰属収入-消費支出

★消費収支計算書ポイント

〔帰属収入〕	大学の学部学生数の減少を主因に学生生徒等納付金は減少したものの、出願者増による手数料の増加や寄附金・補助金の増額により、前年度比で229百万円増加しました。
〔消費支出〕	人件費が減額になった他、前年度にあった建物解体ならびに資産処分差額が減少したことから、八事新1号館完成に伴う増加経費を相殺し、273百万円減少しました。
〔帰属収支差額〕	収入の増加と支出の減少があり、帰属収支差額は502百万円改善しました。また、収支係数は2ポイント改善し、9.9%になりました。但し、消費収支差額（当年度消費支出超過額）ペースでは、マイナス219百万円と、依然ゼロ均衡に及びませんでした。

貸借対照表

資産の部

科目	平成18年度末	平成17年度末	前年度比
土地	13,305	13,261	44
建物	28,987	27,854	1,133
構築物	885	981	△ 96
教育研究用機器備品	4,536	4,582	△ 46
その他の機器備品	163	154	9
図書	5,150	4,975	175
車両	9	12	△ 3
建設仮勘定	1,132	2,072	△ 940
有形固定資産計	54,167	53,891	276
施設利用権・特許権	52	35	17
有価証券	4	4	0
出資金・保証金	8	8	0
引当特定資産	15,319	15,169	150
その他の固定資産計	15,383	15,216	167
現金預金	11,423	8,850	2,573
未収入金	2,172	2,263	△ 91
有価証券	1,598	1,000	598
前払金	48	62	△ 14
流動資産計	15,241	12,175	3,066
資産の部合計	84,791	81,282	3,509

※増減調整のため財産目録および他の計算書と金額の異なる科目があります。

★貸借対照表ポイント

総資産は、八事新1号館の取得や流動資金の増加により3,509百万円増加し、84,791百万円となりました。

自己資金構成比率（自己資金／総資産）は、帰属収支差額を2,352百万円確保したが、前年度比0.8ポイント減少し85.4%となりました。

流動比率（流動資産／流動負債）は、一時的な未払退職金を補正した場合、実質15.6ポイントアップし、240.0%となります。

18年度は年度末が休日であったため、一時的に退職金が1,183百万円未払いとなりました。

このため、年度末に流動資産と負債が一時的に増加しています。

【有形固定資産】	八事新1号館の完成などにより建物は1,133百万円増加し、建設仮勘定は940百万円減少しました。
【その他の固定資産】	特定資産の微増により167百万円増加しました。
【流動資産】	翌期の再開発・MS-15推進など多様な事業計画に対応するため、現金預金が2,573百万円増加しました。
【固定・流動負債】	借入金は計画どおりに返済が進んでおり、374百万円減少しました。 18年度は年度末が休日であったため、一時的に退職金が未払いとなり未払金が増加しました。
【基本金】	教育・研究や施設設備の充実のために取得した固定資産の第1号基本金、学術研究基金の第3号基本金への組入れにより2,571百万円増加しました。
【消費収支差額の部】	長期計画に基づく再開発事業が一因となり、消費支出超過の状態です。

負債・基本金・消費収支差額の部

(単位:百万円)

科目	平成18年度末	平成17年度末	前年度比
長期借入金	2,383	2,757	△ 374
退職給与引当金	2,912	3,004	△ 92
固定負債計	5,295	5,761	△ 466
短期借入金	555	555	0
未払金	1,576	290	1,286
前受金	4,197	3,818	379
預り金	721	763	△ 42
流動負債計	7,049	5,426	1,623
負債の部合計	12,344	11,187	1,157
第1号基本金	80,051	77,628	2,423
第3号基本金	3,500	3,400	100
第4号基本金	1,498	1,450	48
基本金の部合計	85,049	82,478	2,571
消費収支差額の部合計	△ 12,602	△ 12,383	△ 219
負債・基本金・消費収支差額の部合計	84,791	81,282	3,509
自己資金	72,447	70,095	2,352
総資金	84,791	81,282	3,509
減価償却額の累計額	26,990	25,106	1,884

※「自己資金」＝基本金＋消費収支差額

※「総資金」＝負債＋基本金＋消費収支差額

財産目録

(単位:百万円)

科目	平成18年度末	
I. 資産額		
1. 基本財産	54,625	
(1)土地	594,156 m ²	12,631
1)校舎敷地	267,184 m ²	7,736
2)運動場	198,543 m ²	2,013
3)附属研究施設敷地	95,643 m ²	2,592
4)寄宿舎敷地	991 m ²	285
5)演習林用地	31,795 m ²	5
(2)建物	227,553 m ²	28,645
1)校舎	184,198 m ²	23,212
2)図書館	10,825 m ²	2,298
3)体育館	12,062 m ²	920
4)その他	20,468 m ²	2,215
(3)教育研究用機器備品	114,657 点	4,536
(4)その他の機器備品	1,730 点	163
(5)図書	1,009,179 冊	5,150
(6)第3号基本金引当資産		3,500
1)教育充実基金		1,520
2)名城大学奨学基金		1,000
3)学術研究基金		980
2. 運用財産	30,165	
(1)土地	67,582 m ²	674
(2)建物	7,140 m ²	342
1)天白校地	2,431 m ²	211
2)八事校地	112 m ²	7
3)附属農場	2,850 m ²	60
4)可児校地	7 m ²	4
5)附属高等学校	508 m ²	26
6)グラウンド	1,120 m ²	32
7)サテライト	112 m ²	2
(3)構築物		885
1)天白校地		341
2)八事校地		50
3)附属農場		50

科目	平成18年度末	
4)可児校地		117
5)附属高等学校		130
6)グラウンド		197
(4)建設仮勘定		1,132
(5)車両	17 台	9
(6)施設利用権	6 口	19
(7)特許権	87 口	33
(8)出資金	14 口	1
(9)積立金		11,819
1)退職給与引当資産		2,912
2)大学整備準備特定資産		763
3)減価償却引当特定資産		2,250
4)新構想準備特定資産		5,852
5)高校整備準備特定資産		42
(10)有価証券		1,601
(11)現金・預金		11,423
1)現金		9
2)預金		11,414
(12)保証金		7
(13)未収入金		2,172
(14)前払金		48
資産額合計		84,790
II. 負債額		
1. 固定負債	5,295	
(1)長期借入金		2,383
(2)退職給与引当金		2,912
2. 流動負債	7,049	
(1)短期借入金		555
(2)未払金		1,576
(3)前受金		4,197
(4)預り金		721
負債額合計		12,344
正味財産		72,446

※借入不動産:土地(可児校地、農場用地、その他)、建物(学生寮、その他)

注1.基本財産:学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

注2.運用財産:学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

・徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上しています。

・退職給与引当金

退職給与引当金の額の算定方法は、次のとおりです。

イ. 大学については会計年度末要支給額9,521百万円の50%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額を計上しています。

ロ. 高等学校については会計年度末要支給額1,047百万円の100%を基にして、私学退職基金財団よりの交付金相当額を控除した金額を計上しています。

(2) その他の重要な会計方針

・有価証券の評価基準及び評価方法は、移動平均法に基づく原価法です。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしています。

・預り金に係る収入と支出は相殺して純額で表示しています。

2. 重要な会計方針の変更等

「学校法人会計基準」(昭和46年文部省令第18号)の改正に伴い、当会計年度から改正後の基準によっています。なお、この変更による影響額はありません。

3. 減価償却額の累計額の合計額

26,989百万円

4. 徴収不能引当金はありません。

5. 担保に供されている資産の種類及び額

土地 622百万円

6. 翌会計年度以後の会計年度に基本金への組入れを行う金額

811百万円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

種 類	当年度(平成19年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	9,381	9,515	134
(うち満期保有目的の債券)	(9,380)	(9,509)	(129)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	4,230	4,188	△42
(うち満期保有目的の債券)	(4,230)	(4,188)	(△42)
合 計	13,611	13,703	92
(うち満期保有目的の債券)	(13,610)	(13,697)	(87)

(2) デリバティブ取引は行っていません。

(3) 外貨建資産・負債はありません。

(4) 偶発債務はありません。

(5) 平成18年度末の予算外義務負担額(平成10年3月以前に締結したリース契約等)

外国人留学生寮 22百万円

(6) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	2,910百万円	1,187百万円
その他の機器備品	16百万円	2百万円
車両	28百万円	15百万円

(7) 関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

① 当法人は日本私立学校振興・共済事業団借入に対して理事長及び財務担当理事より債務保証を受けています。なお保証料の支払は行っていません。

・債務保証額は1,690百万円です。

・平成18年度の期首残額は2,030百万円、返済額は340百万円です。

② 役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社

(有)エム・ユー・サービス(住所：名古屋市天白区)

・資本金は3百万円です。

・事業の内容は、一般労働者派遣事業・損害保険代理業等です。

・議決権の所有割合は、当法人46.7%、理事・前理事の近親者が53.3%を直接保有しています。

・事業上の関係は、業務委託の締結、損害保険の契約です。

・平成18年度の取引は、業務委託料の支払108百万円、保険料の支払11百万円です。

・業務委託料等については、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定しています。

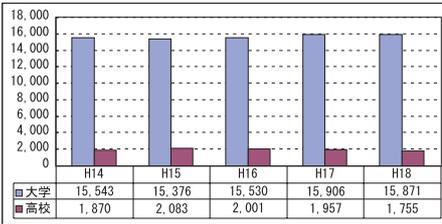
(8) 後発事象はありません。

グラフで見る財務状況の推移

※グラフ右上の()は単位を示します。

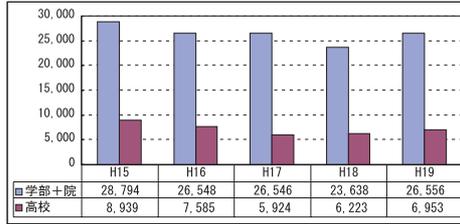
A. 基礎数値の推移

1. 学生・生徒数(5月1日現在) (人)



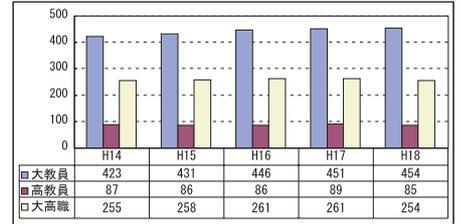
・学生、生徒数については減少しています。

2. 入学試験出願者数 (人)



・年度は入試(入学)年度を示します。

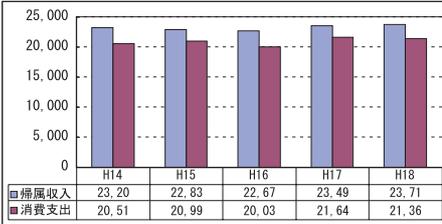
3. 専任教員・職員数(5月1日現在) (人)



・教員には学長を含みます。
・職員には大学技術員・高校助手を含みます。

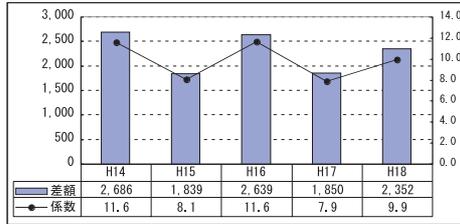
B. 消費収支の推移

1. 帰属収入・消費支出 (百万円)



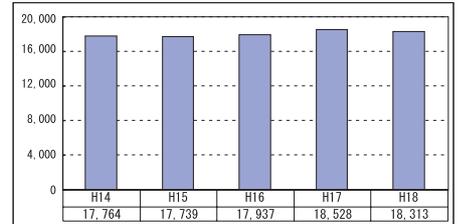
・収入・支出ともに増加傾向にあります。

2. 帰属収支差額と収支係数 (百万円・%)



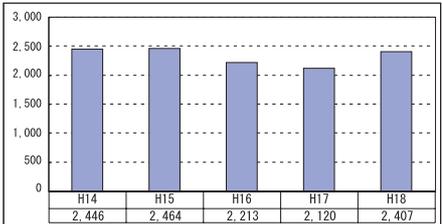
(帰属収支差額=帰属収入-消費支出)
(収支係数=帰属収支差額÷帰属収入)

3. 学生生徒等納付金 (百万円)



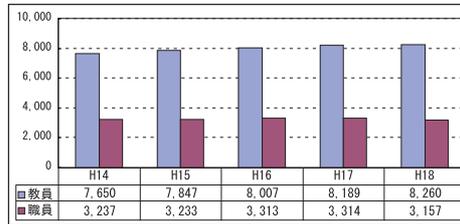
・学生・生徒数の減少により、納付金も減少しています。

4. 補助金 (百万円)



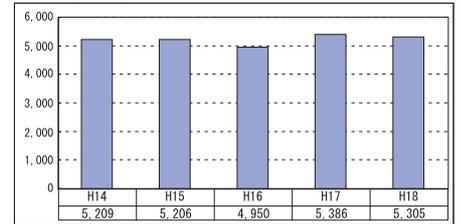
・H18は過去の実績に戻りつつあります。

5. 教員・職員人件費 (百万円)



・教員増による教員人件費の増加およびH16からは教職員の退職金財団掛金が増加しました。

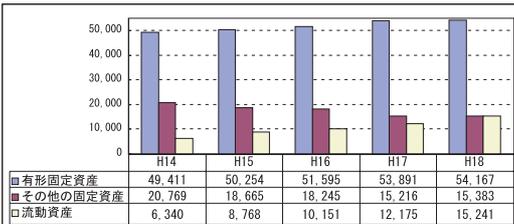
6. 教育研究経費(減価償却額を除く) (百万円)



・H14から75・講義棟南、H17から講義棟北 I の新設に係るランニングコストが増加しました。

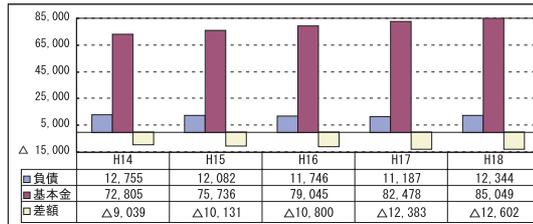
C. 貸借対照表の推移

1. 資産の部 (百万円)



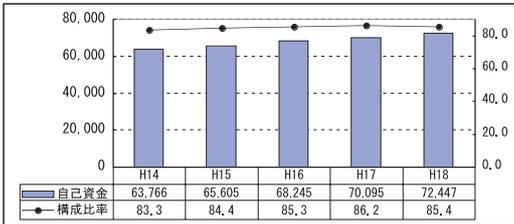
・H15から資産の流動化を進めています。

2. 負債・基本金・消費収支差額の部 (百万円)



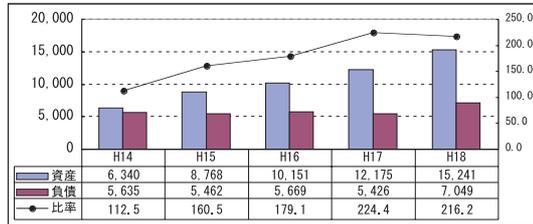
・H18は年度末が休日であったため、一時的に退職金が未払いとなり負債が増加しました。
・再開発事業などにより消費収支差額(支出超過)が増加しています。

3. 自己資金と比率(自己資金/総資金) (百万円・%)



・返済の必要のない、法人に帰属する資金総額の割合です。
・全国規模別(学生数1万人以上)のH17平均は85.0%です。

4. 流動資産・負債と比率(流動資産/流動負債) (百万円・%)



・短期的な支払い能力を判断する指標です。
・全国規模別(学生数1万人以上)のH17平均は221.3%です。

44年の歴史と伝統を引き継ぎ、和の伝承に頑張る茶道部

「高校から興味はあったものの、女性ばかりで入部を諦めましたが、大学の茶道部は男性が多くて迷わず入部しました」という森英明主将を中心に、男性14人、女性5人の19人が、7号館408で活動しています。



毎週月曜日と水曜日の16時30分から19時まで、水曜日には創部から練習を見ていただいている中井先生姉妹(裏千家)の指導を受けています。

名城大学には、薬学部にも茶道部があり、こちらは創部50周年を迎えました。同じ中井先生の指導を受けています。

「お茶のお稽古をしていると所作がとても良くなります。お茶の入れ方は忘れても、身に付いた所作は忘れません。これから社会に出てこれに役に立ちます」と中井先生は言われます。



背筋をシャンと伸ばし、腕なども縮こまらない、でも伸ばし過ぎずに大きく見せる、本来着物姿で出すお茶だけに、姿勢も美しさを求めます。日本の美をいつまでも伝承してほしいですね。



理工学部建設システム工学科の卒業生の皆様への重要なお連絡

平成16年3月以降に建設システム工学科を卒業された皆様にご連絡申し上げます。

一級建築士の受験資格に関して重要なお知らせがありますので、

名城大学ホームページ <http://www.meijo-u.ac.jp/> をご覧ください。

理工学部建設システム工学科